



キャラバン・メイト ほくぼう茶屋

真庭市認知症キャラバン・メイト
連絡協議会

第7号 令和4年2月発行
事務局) 真庭市地域包括支援センター
(0867) 42-1079

ほくぼう茶屋

とき 毎月第3火曜日 13:30~15:30

ところ 北房振興局 2階

参加費 200円

○お問い合わせは、北房振興局・保健師まで

0866-52-2113



〈 今後の予定 〉

☆3月15日(火)

「踊って踊って

リフレッシュ」

(2月は中止です)

北房地域では、毎月1回ほくぼう茶屋を開催しています。

地域の方々との交流を大切に、体操をしたりお茶やお菓子を食べながらゆっくり過ごしています。物忘れが気になり始めた方、認知症の人を介護されている方など、お誘いあわせの上是非ご参加ください。



〈 最近のほくぼう茶屋の紹介 〉

- 認知症について勉強会
- お正月お飾りづくり
- 脳トレ体操
- ふるさとカルタ
- 豆運び

などなど



▲「ふるさとカルタ」に夢中！(R4.1.18)

○作本先生とのお別れ会 (R3.8.17)

平成19年の真庭市キャラバン・メイトの発足時からご指導いただいた作本先生が昨年北房を去られました。

特に、「ほくぼう茶屋」の運営には長い間お世話になり、ありがとうございました。



ありがとう
ございます

認知症になっても安心 ほくぼう！

サポーター養成講座の開催

認知症サポーターとは、認知症の人を温かい目で見守る“応援者”です。

サポーターになるためには、認知症についての基礎知識と言葉がけや接し方などを学習します。

【 令和3年度の実施状況 】

令和3年

10月 7日 北房小学校5年生

11月16日 北房支部愛育委員

令和4年

1月13日 中国銀行北房支店職員



▲脳トレ体操をする小学生 (R3.10.7)

今回の研修で相手の話を聞くことの大切さを再認識した。

忙しい時こそ、ゆっくり対応していきたい。
(銀行員)

・困っている人がいたら助けてあげたいし、優しく接してあげたい

・もっと早く勉強していたら、おじいちゃんに対する接し方も違っていた

・将来は認知症の人のお世話をする仕事がしたい
(小学5年生)

北房地域声かけ体験会に参加



令和3年11月30日に北房地域ケア会議主催の声かけ体験会が実施されました。

認知症キャラバン・メイトも高齢者役で体験し、高齢者や困っている人への声かけの仕方、対応の仕方、警察などへの通報の仕方などを学びました。



▲相手の目線に合わせて、優しい声で…

【 声かけの7つのポイント 】

- ①まずは見守る
- ②余裕を持って対応する
- ③声をかける時はひとりで
- ④後ろから声をかけない
- ⑤相手の目線に合わせて、優しい口調で
- ⑥おだやかではっきりした話し方で
- ⑦相手の言葉に耳を傾けてゆっくりと